

2016年5月27日

2016年度地域経済学科公開シンポジウム（案）5.0
～帝京大学開学50周年～

帝京大学経済学部地域経済学科長
地域活性化研究センター長
山川 充夫

1. 開催趣旨

帝京大学は地域づくり人材の育成を目的として2011年度に宇都宮キャンパスに経済学部地域経済学科を開設しました。また教育と研究と地域連携を深めるために、昨年11月には地域活性化研究センターを、この4月には大学院経済学研究科地域経済政策学専攻を設置しました。

地域経済学科では開設以来、毎年、公開シンポジウムを開催してきました。直近では、2014年度は「女性の活躍」を、2015年度は「地方創生」をテーマに掲げ、市民・県民を交えて学生・教職員ともども有益な意見交換を行ってきました。

今年度は地球的課題である温暖化問題と地域的課題である都市づくりのあり方とに焦点をあて、「創発的地域づくりと脱温暖化」をテーマとし、地域経済政策学はどうあるべきかについての議論を深めることを期待しています。

2. 日 時

2016年12月17日（土）13時00分～17時00分

3. 場 所

帝京大学宇都宮キャンパス地域経済学科棟大教室

4. 主 催：帝京大学経済学部地域経済学科・地域活性化研究センター

後 援：（独）科学技術振興機構社会技術開発研究センター（未定）

宇都宮市役所（未定）

マスコミ等（未定）

5. テーマ

創発的地域づくりと脱温暖化

6. 挨拶（13時00分～13時10分）

波江野 勉氏（帝京大学理工学部長）

7. 基調講演（13時10分～13時50分）

西岡秀三氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関研究顧問）

「IPCC AR5/パリ協定のもとでの地域温暖化対策のあり方」（仮）

8. パネルディスカッション（13時50分～15時10分）

モデレータ：山川充夫（地域経済学科長）（13時50分～14時00分）

報 告（14時00分～15時40分）（各25分）

宝田恭之氏（群馬大学大学院理工学部教授）

「創発的地域づくりによる脱温暖化」（仮）

佐藤栄一氏（宇都宮市長）

「ネットワーク型コンパクトシティとLRTと脱温暖化」（仮）

徳増秀博氏（日本立地センター参与、帝京大学客員教授）

「脱温暖化時代の産業立地：宇都宮市への期待」（仮）

溝尾良隆氏（川越市総合計画審議会会長、帝京大学客員教授）

「観光まちづくりと脱温暖化」（仮）

（休憩）（15時40分～15時55分）

質 疑（15時55分～16時45分）

まとめ（16時45分～16時55分）

9. お礼のあいさつ（金子弘道地域活性化センター副センター長／教授）（16時55分～17時00分）